

令和7年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 ( 月 日実施)	総合評価 ( 月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①学習指導要領の主旨を踏まえ、生徒の特性等に応じた教育課程を編成し、適切に実施する。  ②社会の変化やニーズに対応し、生き抜くための資質・能力を養うため、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを推進する。  ③「総合的な探究の時間」における探究活動の充実により、「自ら主体的に学び続ける力」の育成を図る。	①学習指導要領の主旨を踏まえた教育課程の定着を図り、生徒の進路実現に繋がるよう、適切に実施する。  ②授業力向上研修のテーマに基づき、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを積極的に推進する。  ③主に2学年の探究活動のプログラムの改善点を明確にし、3学年の探究活動における深化推進を図る。	①生徒が自らの進路実現を見通したよりよい科目選択を行えるようにするため、説明会や資料の充実を図るとともに、DX化を進める。  ②年間で授業力向上研修会4回、研究授業1回、授業互見週間2回に加え、公開研究授業では指導主事等の助言を仰ぐなど年間を通して授業力向上に努める。  ③1学年においては3分野のミニ探究を実施し、2・3学年は個別探究で各自のテーマ設定をし、自ら課題を発見させる。	①職員・生徒双方が教育課程の特長を理解し、適切な科目選択に繋がっているか。選択・提出・変更等の手続がわかりやすく、円滑に実施されたか。  ②生徒による授業評価の結果をグラフ化等することにより、教員の意識行動調査において改善が見られたか。  ③生徒が主体的に課題設定・活動し、成果物を完成させることができたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	①生徒一人ひとりが安心して学校生活を過ごせるよう、安全な教育環境を確保し、支援体制の充実を図る。  ②生徒会活動や学校行事を充実させ、生徒が主体的に活動できるよう支援し、社会性の育成に努める。  ③部活動を通して、日頃の学習習慣の確立を併せたタイムマネジメント能力の育成を図り、自主的な活動ができるよう支援する。	①基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成を図る。また、生徒の個別の課題への対応や支援体制の充実を図り、心身共に安全で健康な学校生活を送ることができるよう支援する。  ②生徒が生徒会行事・学校行事を通して、自己効力感を高められるように、さらに生徒会本部と各種委員会との連携を進めていく。  ③かながわ部活の日に合わせて、部活動のさらなる活性化のために、部活動総点検を実施し、部活動の環境整備を行う。	①生徒指導方針を全職員で共通認識を図った上で、生徒の日頃の状況から問題点や要配慮の情報を把握、共有し、状況に応じて適切かつ組織的な対応に繋げる。  ②行事内容について生徒との意見交換を通し、生徒の主体的な関わりの下、内容の精選、質の向上に努める。また、ICTを活用し、新入生向けオリエンテーション、生徒会選挙や生徒総会を効率よく運営する。  ③生徒の安全面、健康面、学習面に配慮し、部活動総点検を実施し、結果を共有する。	①特別指導や問題行動の件数が減少したか。また、必要な支援に繋げることで、課題解決に至るケースがさらに増えたか。  ②行事後の振り返り等から、学校行事・生徒会行事を通して生徒の自己効力感が高められたか。  ③部活動を通して、生徒が主体的に活動できるように支援できたか。					
3	進路指導・支援	①3年間を見通した体系的なキャリア教育を実践する。希望する進路実現に向けた能力を育成する。	①3年間のキャリア教育を構築し、生徒が主体的・段階的にキャリアプランを構想し実現する力を育成する。	①3年間の進路説明会や行事の計画の実施と見直しを図る。模試の活用を充実させる。	①計画的に実施できたか、必要に応じて見直しを行うことができたか。また、模試の活用ができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 ( 月 日実施)	総合評価 ( 月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		②多様な進路希望に対応する進路支援体制を充実させる。	②多様な進路希望に対応するため、進路実現に向けた生徒への支援体制を充実させる。	②変化する入試に対応できるように進路情報の提供や教員の共通理解を進め、組織的、継続的な視点をもって進路支援体制を構築する。	②多様な進路相談に対し、適切な対応ができたか。					
4	地域等との協働	①地域との連携・協働を進め、「地域から信頼される学校づくり」を推進する。  ②保護者・地域への情報提供に努め、家庭・地域の支援体制を充実させる。教育活動や成果を情報発信し、広報活動を進める。	①学校行事や地域行事等において、地域と連携した教育活動を実施する。  ②本校の教育活動について、学校HPや学校説明会等において積極的に情報を発信する。	①近隣小中学校や地域と行事等を通じて交流を図る。  ②学校HPにおいては、新規情報を、学校HPに時機を逃さず正確に配信する。学校説明会等においては、本校の特色を積極的に伝える。	①地域との連携・協働を推進することができたか。  ②新規情報を、学校HPに時機を逃さず正確に配信することができたか。学校説明会等で、本校の特色を十分に伝えることができたか。					
5	学校管理 学校運営	①生徒たちが過ごす教室環境の整備に努め、安心・安全な学校生活を推進する。  ②ICT環境の点検整備を推進し、授業等に支障のないよう努める。  ③学校運営協議会により課題を明らかにし、地域や外部機関等との協働などにより、課題解決を進める。  ④職員のワークライフバランスを充実させるため、働き方改革を推進する。  ⑤生徒が安心して通い学ぶことができるように、コンプライアンスの徹底と不祥事防止に取り組む。	①毎日実施する清掃活動の用具を点検整備し、効率的な清掃活動が実施できるよう支援する。  ②ICT環境の問題点を洗い出し、整備できるように計画を立てる。  ③学校運営協議会により、課題を明らかにし、課題解決に努める。  ④働き方改革の推進により職員のワークライフバランスの充実と業務の適正化、効率化を推進する。  ⑤事故不祥事防止及びコンプライアンスの徹底を図り、安心・安心な教育環境づくりを推進する。	①汚損した机椅子や清掃用具を速やかに交換していく。  ②-1 機器の故障時の連絡体制を構築する。 ②-2 ICT支援員の配置により、ICTの効果的な利活用の体制を構築する。  ③学校運営協議会を年3回開催し、本校の教育活動等について委員から評価をいただくとともに、課題の解決策を講じる。  ④-1 グループ業務の見直しを図るとともに、衛生委員会やオフィス改善チームを中心として労働環境の整備を図る。 ④1・2 職場アンケート等で課題等の可視化を図る、  ⑤事故不祥事防止を全職員が自分事と捉えられるよう、あらゆる機会を活用し意識啓発を行う。	①危険な状態で使用している机等がないか。清掃用具は十分に揃っているか。  ②-1 ICT機器の状態を把握できているか。 ②-2 授業や校務におけるICTの活用が更に活発となったか。  ③課題を明らかにすることができたか。また、解決策を策定し、解決することができたか。  ④-1 業務分担が適正に行われたか。 ④-2 職場アンケートの結果において改善点や更なる課題が確認できたか。  ⑤事故不祥事防止の意識啓発につながったか。  ⑤昨年度のヒヤリハット事例が改善されたか。					